



TOTO

# ハンドシャワー式2ハンドル湯水混合栓 TMS26型・TMS27型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意	
	<p><b>湯水を逆に配管しない</b> 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>
	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しない</b> 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

注意	
	<p><b>分解禁止</b></p> <p>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>必ず実行</b></p> <p>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う 部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>禁止</b></p> <p><b>寒冷地用</b> 水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

## 2 仕様

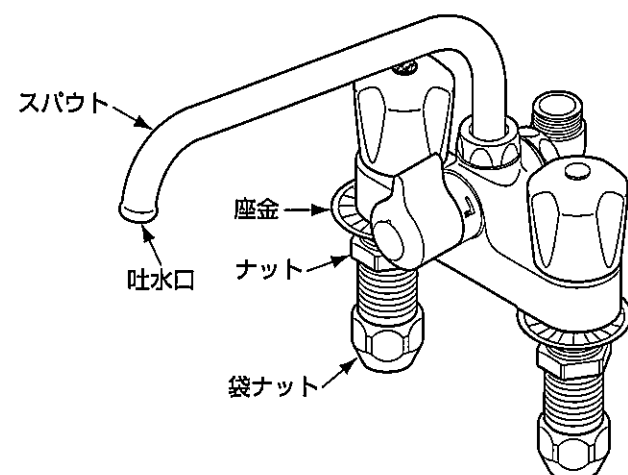
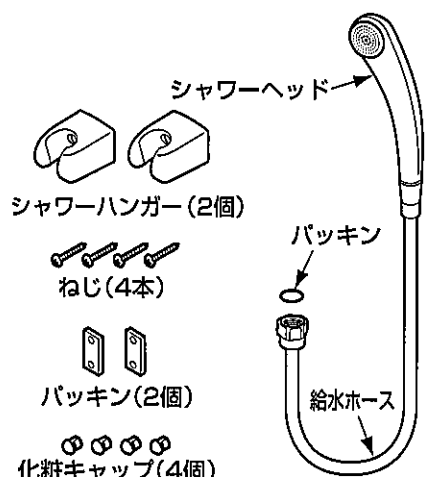
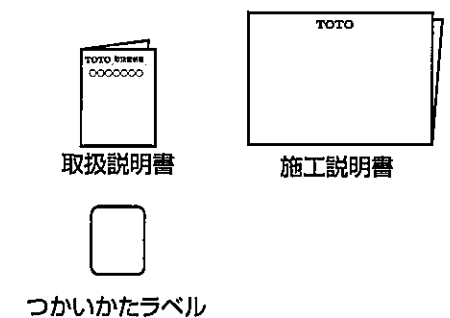
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅浴室用

## 3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途点検口と止水栓を必ず設けてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

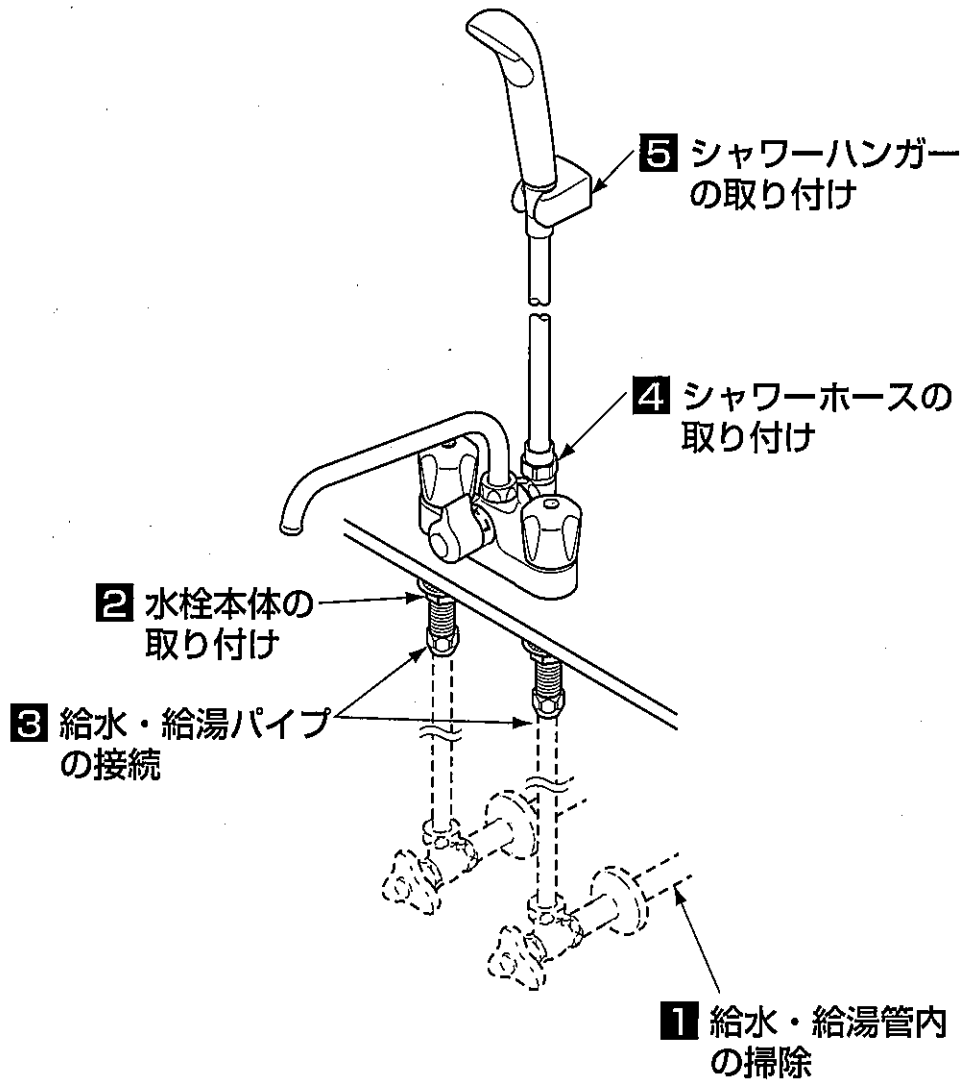
## 4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	
	
シャワー部	その他
	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。





1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

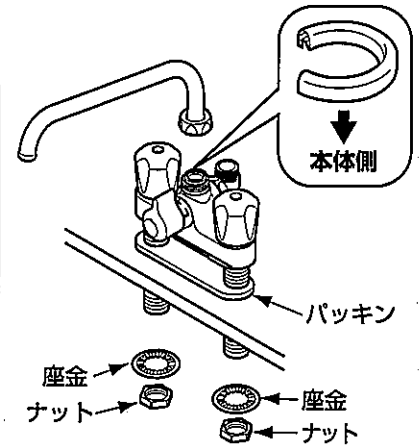
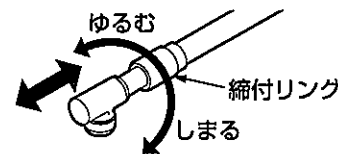
2 水栓本体の取り付け

<スパウトが接続されていない場合>

スパウトを水栓本体に取り付ける。

注意

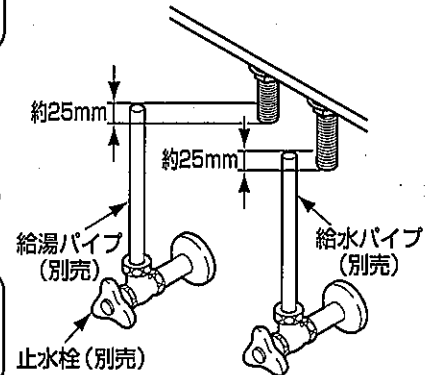
- Uパッキンの向きに注意してください。Uパッキンは開いている方が本体側です。
- 伸縮自在スパウトの場合、吐水口は真下を向いた状態に取り付けてください。



- ① 取付穴周囲の汚れを取る。
- ② 本体が正面を向くように仮固定する。
- ③ 給水・給湯パイプの必要な長さを確認し、切断する。

注意

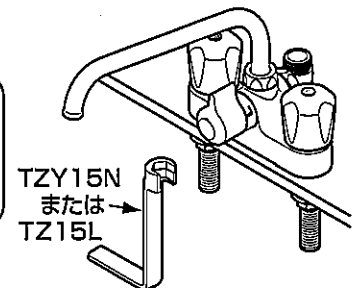
パイプの差し込み代は約25mm確保してください。



- ④ 本体を本固定する。

注意

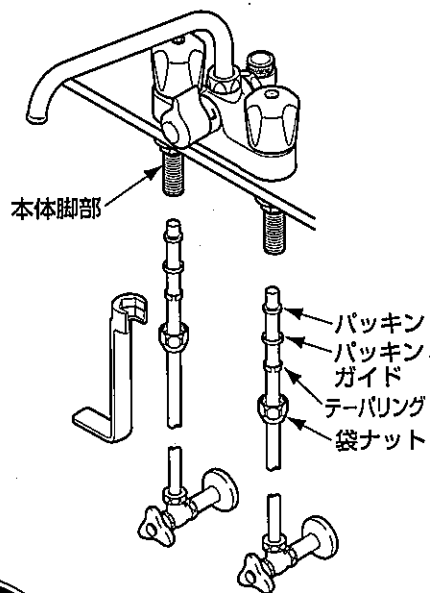
固定には別売の締付専用工具(TZY15NまたはTZ15L)を利用して確実に締め付けてください。



裏面へつづく

### 3 給水・給湯パイプの接続

- ①給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れ、給水・給湯パイプを本体脚部に差し込む。
- ②パッキンをパッキンガイドに入れ、本体脚部に押し付け、手締めで袋ナットを締め付ける。
- ③さらに締付専用工具で1回転以上締め付ける。



**注意**

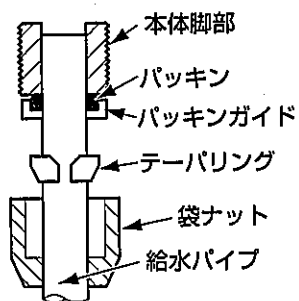
抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

**注意**

袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番で、向きを間違えないようにして接続してください。

水漏れのおそれがあります。

**重要**

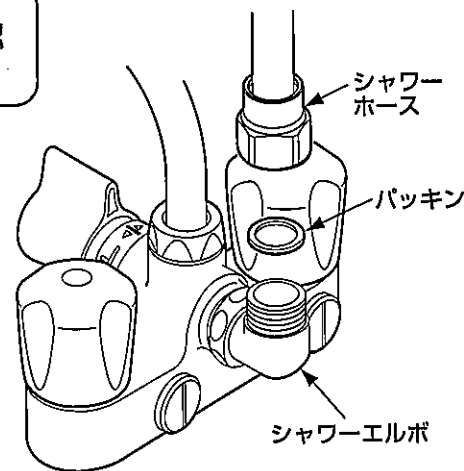


### 4 シャワーホースの取り付け

シャワーホースを図のように取り付ける。

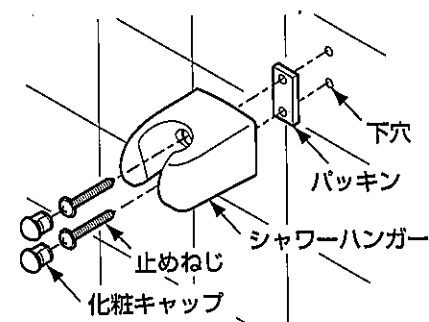
**注意**

パッキンが入っていることを確認してください。



### 5 シャワーハンガーの取り付け

- ①下穴をあける。  
※取付位置は「⑤完成図」を参照
- ②パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④化粧キャップをねじ穴に確実に差し込む。



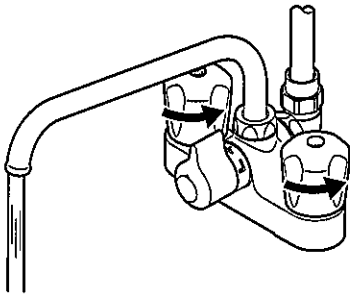
# 7

## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

### 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



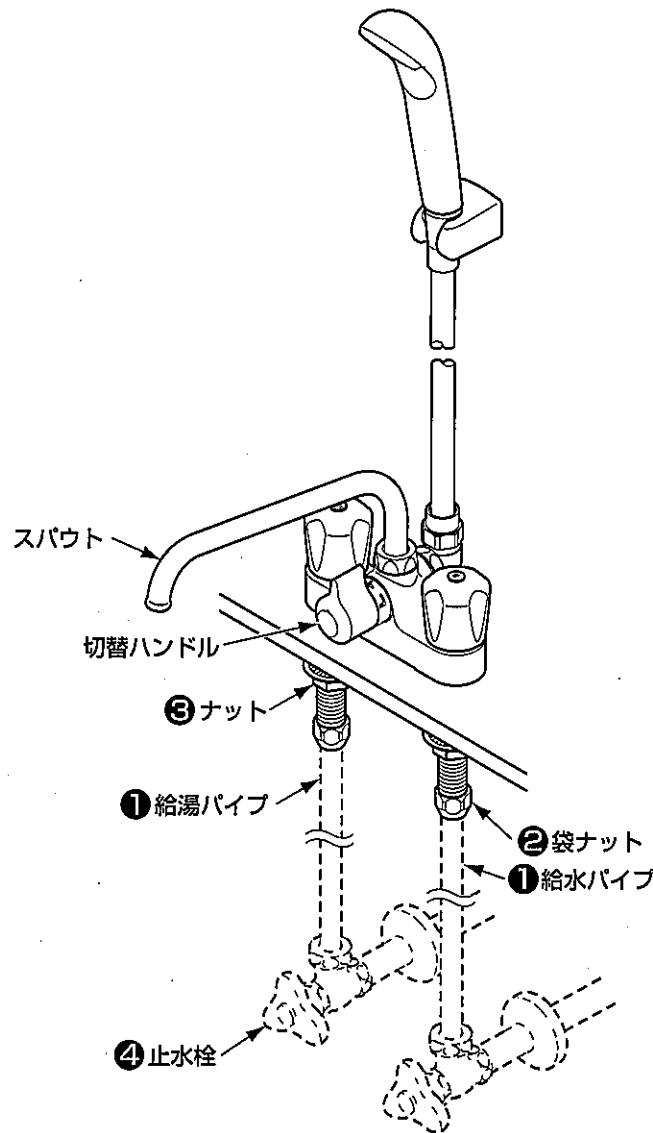
### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯パイプはしっかり接続されていますか？

② 袋ナットのゆるみはないですか？

➡ ⑥-③ 「給水・給湯パイプの接続」参照



### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

③ 水栓本体のナットは確実に締め付けていますか？

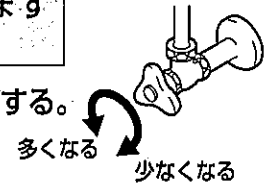
➡ ⑥-② 「水栓本体の取り付け」参照

### 流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

④ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。



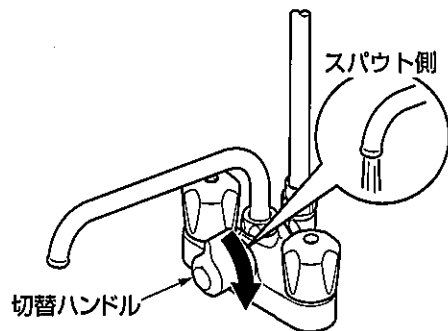
## 8

## 寒冷地用の水抜き方法

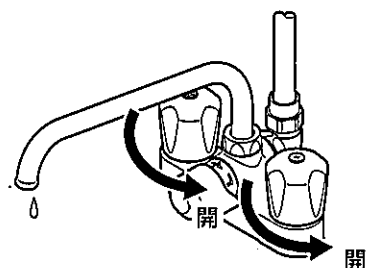
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。  
また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓(配管部)を開ける。

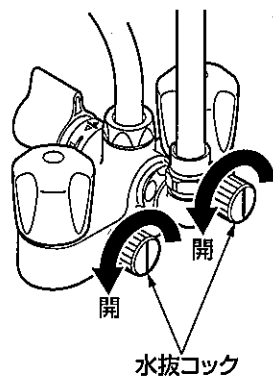
2. 切替ハンドルを右(スパウト側)に回す。



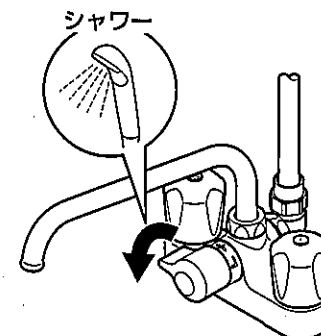
3. 湯・水両方のハンドルを全開にして水栓内の水を抜く。



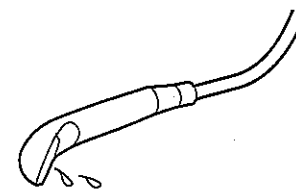
4. (一時止水タイプの場合)  
水抜コック(2カ所)を開ける。



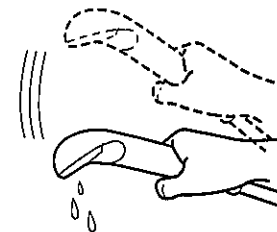
5. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを反時計回り(シャワー側)に回す。



6. シャワーヘッドを床近くまで下げ、ホース内の水を抜く。



7. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。



8. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、湯・水両方のハンドルを閉める。  
(水が出ない状態)

